

SENDAI NEW PHILHARMONIC ORCHESTRA 45th Concert

仙台ニューフィルハーモニー
第45回定期演奏会

CONDUCTOR 指揮/工藤 俊幸
KUDO Toshiyuki

DEBUSSY クロード・アシル・ドビュッシー / 「牧神の午後」への前奏曲
Prélude à "L'après-midi d'un faune"

RAVEL ジョゼフ=モーリス・ラヴェル / 高雅で感傷的なワルツ
Valses nobles et sentimentales

BERLIOZ ルイ・エクトル・ベルリオーズ / 幻想交響曲 作品14
Symphonie Fantastique Op.14

2007.4.21.[Sat]

イズミティ21大ホール

全席自由

18:00開場 18:30開演

一般 ¥1,000/高校生以下 ¥500

■主催/仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団 ■問い合わせ/仙台ニューフィルハーモニー事務局 (022-234-0701 山路方)・仙台ニューフィルハーモニー HP(<http://sendainewphil.client.jp/>)
■プレイガイド/藤崎 (022-261-5111)・エスパル仙台店パルショップ (022-225-1046)・(株)ヤマハミュージック東北仙台店 (022-227-8513)・カワイミュージックショップ仙台 (022-221-4251)・(株)三立楽器仙台本店 (022-265-6211)
■後援/宮城県・仙台市・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・(財)宮城県文化振興財団・(財)仙台市市民文化事業団・河北新報社・朝日新聞仙台支局・毎日新聞仙台支局・読売新聞東北総局・産経新聞東北総局・仙台リビング新聞社・(株)仙台放送局・TBC東北放送・仙台放送・三宅テレビ・ICB東日本放送・Date fm・せんだいタウン情報 S-style・RADiO3



Conductor / KUDO Toshiyuki

指揮 / 工藤俊幸

1966年山形県に生まれる。国立音楽大学音楽学部作曲学科卒業。桐朋学園大学音楽学部オーケストラ研究科指揮専攻修了。指揮を崎田俊治、黒岩英臣、飯守泰次郎各氏に、作曲を増田宏三、島岡譲両氏に師事。

1992年オーディションで選ばれ仙台フィル副指揮者に就任。外山雄三音楽監督のもと、1996年までその任を務める。その後一年間ベルリン・ドイツ・オペラで研修。帰国後は全国各地のオーケストラを指揮する傍ら、合唱指揮者としてもNHK交響楽団定期演奏会（H・シュタイン指揮）や読売交響楽団定期演奏会（G・アルブレヒト指揮）で二期会合唱団の合唱指揮を務め、高い評価を得た。

2001年4月山形交響楽団指揮者に就任、2003年4月には群馬交響楽団指揮者に就任し、現在両交響楽団指揮者を兼任している。

これまでに群馬交響楽団、仙台フィル、広島交響楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、大阪シンフォニカー、東京シティフィル、オーケストラアンサンブル金沢を指揮している。

現代音楽の分野では「ミュージック・トゥデイ」や北九州市響ホール「響宴」、草津夏期国際音楽祭などに出演。佐藤總明作品を指揮したCD「仄かなる闇」がカメラータより発売されている。2003年には池辺晋一郎作曲のオペラ「小鶴」を初演し、絶賛を博した。

国立音楽大学大学院非常勤講師。

仙台ニューフィルハーモニー

1981年9月、約20名の弦楽器奏者で創立された仙台ニューフィルハーモニーも25年目を迎えて着実に力をつけ、現団員約90名の成熟しつつあるオーケストラとして益々発展を続けている。

創立当時より、大きな目標の一つに「自力演奏を目指す」ということがあり、そのために、団員一人一人の努力は勿論、演奏指導、運営に携わってきた役員・係も含め、種々な困難に対処してきた。

現在では仙台市内はもとより、宮城県内からも力のある奏者の参加を求めながら編成の充実を目指した結果、ほぼ目標に近い団員数に達しつつある。また、ここ14～15年は優秀な客演指揮者の指導を受ける機会にも恵まれ、音楽への取り組み方も向上し、高い評価を受けるまでになった。

仙台ニューフィルハーモニーでは、現在、団員を募集しております。

募集パートは、弦楽器全パート（Violin、Viola、Cello、Contrabass）です。

■練習日／毎週火曜日7：00～9：30pm

■練習場所／仙台市旭ヶ丘市民センター4階ホール

■会費／月額2,000円

■連絡先／仙台ニューフィルハーモニー事務局（山路方：022-234-0701）

仙台ニューフィルハーモニー HP (<http://sendainewphil.client.jp/>)